

平成25年度

さいたま知っ得予算

- さいたま市の予算と財政状況 -



さいたま市の

- ・平成25年度予算
- ・財政状況

についてわかりやすく解説します！

■目次

【予算編】さいたま市の平成25年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

- ・予算って何？ 2
- ・予算はどうやって決めるの？ 2
- ・会計には種類があるの？ 2
- ・収入と支出の内訳は？ 3
- ・さいたま市の予算を家計に例えると？ 6
- ・どのような事業に取り組むの？ 7

【財政状況編】さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

- ・収入の状況は？ 8
- ・支出の状況は？ 9
- ・貯金の残高は？ 10
- ・市が借りているお金はいくらあるの？ 11
- ・さいたま市のフトコロ事情は安心？ 12
- ・フトコロの体力測定 12
- ・今後の財政見通し 12

●はじめに ～さいたま市の財政に興味ありませんか？～

「財政」や「予算」という言葉をきくと、「興味ない」、「なんだか難しそう」、「わかりにくそう」なんて感じていませんか？ でも予算は、市民の皆様が納めていただいている税金の使いみちであり、市民生活に密接に関わっています。

本冊子「さいたま知っ得予算」は、財政に興味のない方でも「知って得する」内容を目指して作成しました。ぜひ手に取り、皆様の税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのかをお確かめください。

そして、これをきっかけに行政サービスの利用につなげていただいたり（知って得した！）、市政に一層の関心を持っていただき、市の課題を共に考え、市民の皆様と力を合わせてよりよいまちづくりを進めていくことができたら幸いです。

●「知っ得予算」の特徴と構成

(1) 特徴

◇図やイラストを活用して解説

…「知っ得予算」は、法律で定める通常の予算書では伝わりにくい予算の具体的な内容を、図やイラストを活用して解説しています。



◇年度推移や他市との比較がグラフで一目瞭然！

…さいたま市の財政状況について、年度推移や他市との比較をグラフで示すことにより、現在のさいたま市の「位置」を客観的に理解しやすい内容になっています。

(2) 構成

「知っ得予算」は、大きく分けて「予算編」と「財政状況編」の2部構成となっています。平成25年度に取り組む事業の内容については「予算編」、皆様が納めていただく市税をはじめとした市の収入の状況や市が借りているお金などの財政状況については「財政状況編」をご覧ください。

P.2～7 予算編

さいたま市の平成25年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～



「予算ってそもそも何？」

P.2 ・予算って何、
・予算はどうやって決めるの？



「財政って難しそう、家計簿みたいならいいのに」

P.6 ・さいたま市の予算を家計に例えると？



「さいたま市はどんな事業に取り組んでいるの？」

P.7 ・平成25年度はどのような事業に取り組むの？

P.8～12 財政状況編

さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～



「さいたま市が借りているお金はいくらくらい？」

P.11 ・市が借りているお金はいくらあるの？



「さいたま市の財政状況は健全なの？」

P.12 ・さいたま市のフトコロ事業は安心？

1. さいたま市の平成25年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

●予算って何？

…さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積もりです。



予算を見れば、この1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。私たちが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。

※決算とは？ …さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の実績を決算といいます。

●予算はどうやって決めるの？

…市長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。



予算を決めるのは、私たち市民が選挙で選んだ市長と市議会議員です。市役所の税金を預かる部署などは、景気の動向などを踏まえて、翌年度の収入額を見積もります。また、事業を行う各部署は、市民からの意見や要望を聴き、地域の状況などを見ながら、「今、どのような行政サービスを行うべきか」「この地域で行うべき事業は何か」と、翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、さいたま市総合振興計画などの市の計画をもとに、各部署で検討された案に私たちの生活の状況に合わせて新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら予算案をまとめ、市議会に提案します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員が、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。

●会計には種類があるの？

…予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために、3つの会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

<さいたま市の平成25年度の予算>

全会計	8,672億円 (7,457億円)	前年度比 (16.3%増)	
一般会計	4,475億円 (4,309億円)	前年度比 (3.8%増)	教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	3,121億円 (2,078億円)	前年度比 (50.2%増)	国民健康保険や介護保険のように、対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業の会計(15事業)
企業会計	1,076億円 (1,070億円)	前年度比 (0.6%増)	民間企業と同じように、事業収益でまかなわれている会計(水道、病院、下水道の3事業)

()内は前年度

※この他にも、自治体間の財政状況を比較するときに用いる「普通会計」とよばれる会計があります。(詳しくはP.8)

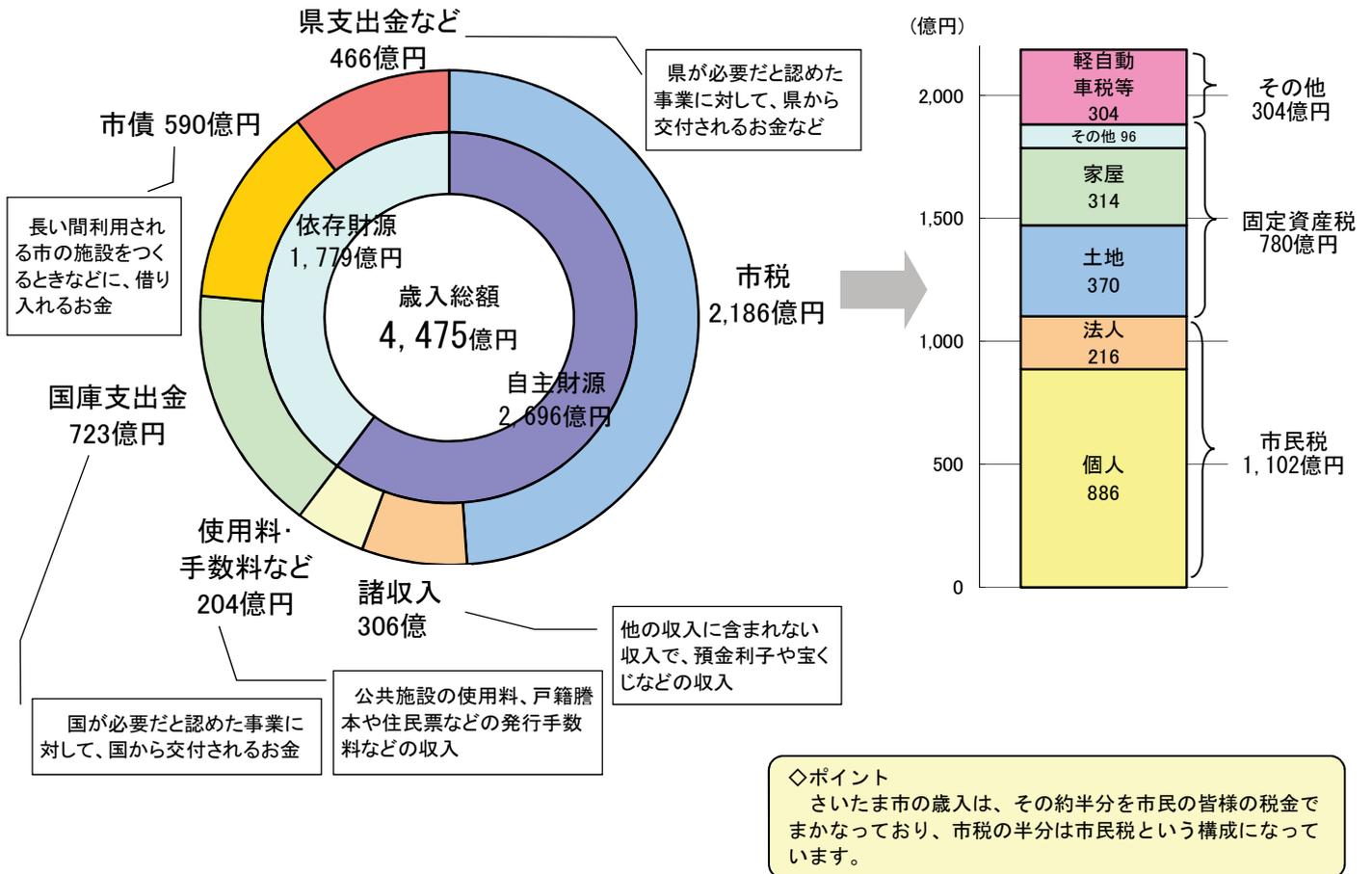
●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

(1) 一般会計の収入(歳入)

一般会計の収入(歳入)には、市税のほか、国や県から配られるお金や借入金(市債)など、さまざまなものがあります。これら収入は、地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分類することができます。

自主財源には、市税、使用料及び手数料などが、依存財源には、国庫支出金、市債、地方交付税などがあります。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

■H25 さいたま市歳入の内訳



ちょっと

●宝くじは埼玉県内の売り場で！

埼玉県内で売れた宝くじの一部は、さいたま市の収入となり、さまざまな事業に活用されています。ぜひ宝くじは埼玉県内の宝くじ売り場でご購入ください！

平成23年度宝くじ収入 **36億8,010万円** (諸収入の約1割！)

さいたま市の宝くじ収益金は、少子化対策などに役立っています。

- ・子育て支援医療費助成事業
- ・放課後児童健全育成施設整備事業 …etc

○市の収益となる宝くじは、「ジャンボ宝くじ」、「関東・中部・東北自治宝くじ」、「ナンバーズ」、「ミニロト」、「ロト6」、「スクラッチ」です。
○「スポーツ振興くじ (totoなど)」の売上は、市の収益とはなりません。

(2) 一般会計の支出(歳出)

一般会計の支出(歳出)は、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとの事業費を積み上げた「目的別歳出」と、人件費、扶助費、建設費など経費の性質ごとに分類した「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

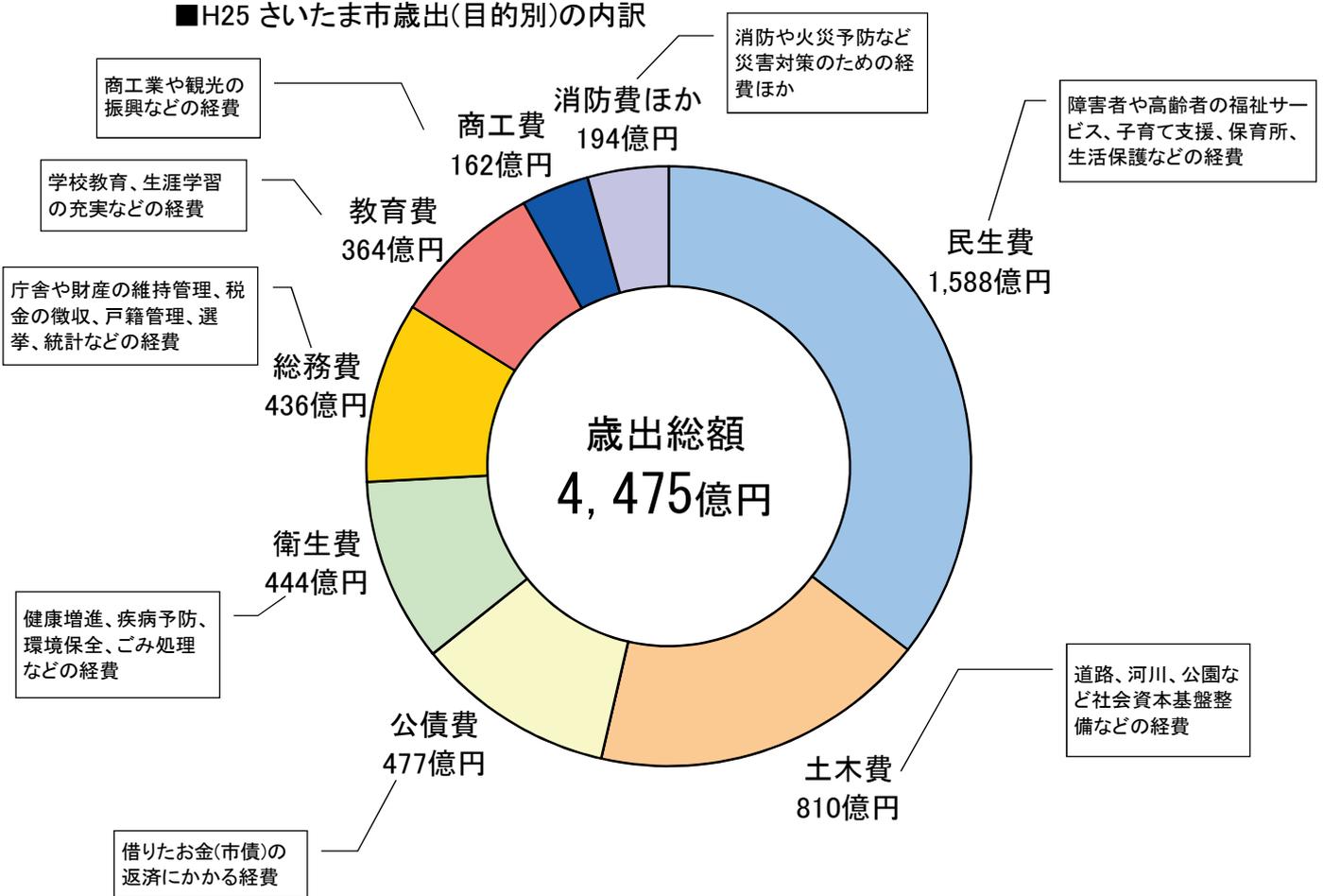


「教育費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは目的別歳出、「人件費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは性質別歳出を見れば分かるんだ。

①目的別歳出

支出の内訳について、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。

■H25 さいたま市歳出(目的別)の内訳

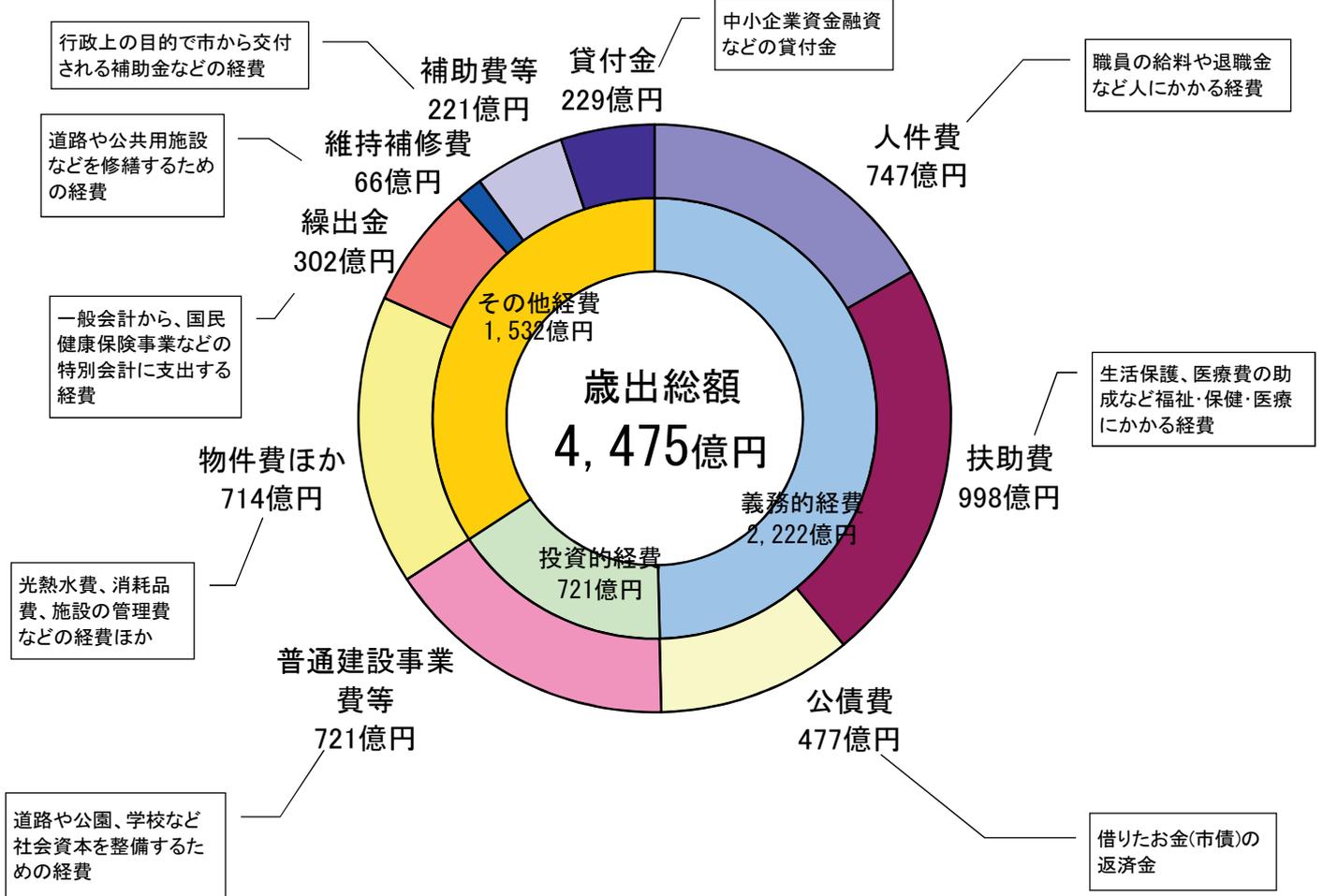


◇ちなみに…
 平成25年度の歳出総額4,475億円を市民1人あたりにすると、
359,487円 となっています。
 (※平成25年1月1日現在の住民基本台帳登録人口 1,244,884人で試算)

②性質別歳出

支出の内訳は、人件費、扶助費、建設費など、経費の性質ごとにどれだけ使うのかも見るすることができます。このうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせた経費を「義務的経費」（毎年必ず支出が必要となる固定的な経費）、また、道路、橋、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本の整備に要する普通建設事業費等の経費を「投資的経費」とよんでいます。

■H25 さいたま市歳出(性質別)の内訳

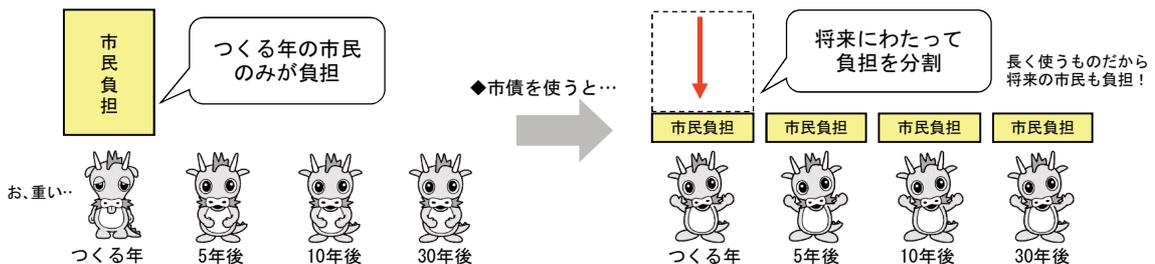


ちょっと一息

●どうしてお金を借りるの？



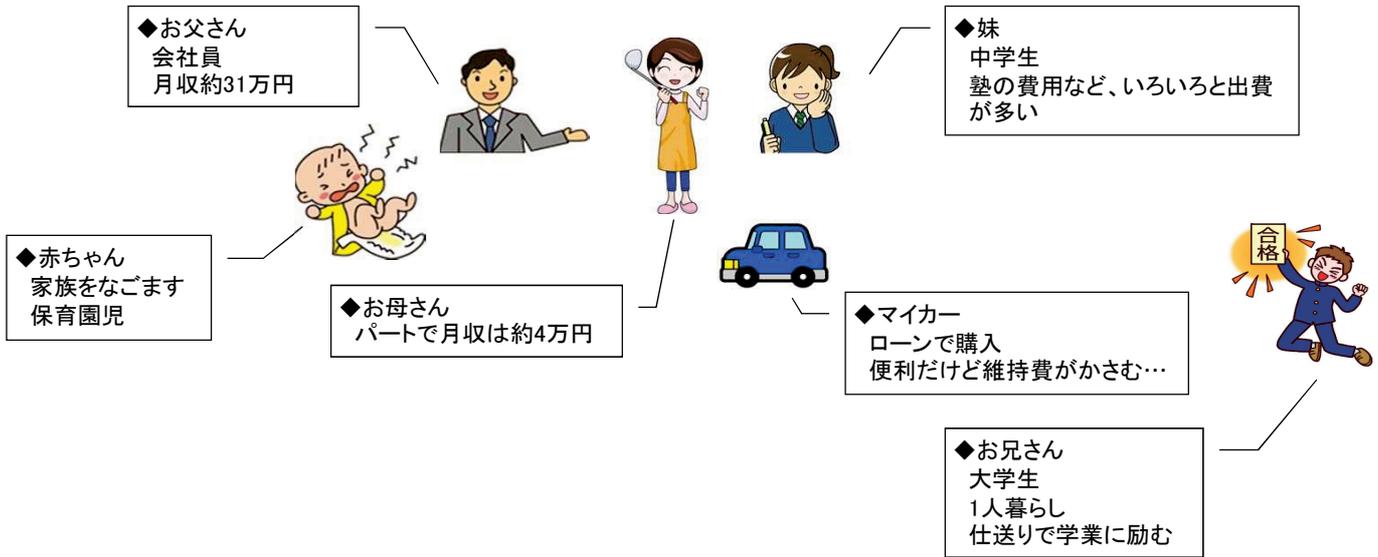
道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民も使います。そのため、つくる年の市民だけに建設費を負担してもらうのではなく、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。



●さいたま市の予算を家計に例えると？

市の予算は数字が大きすぎて実感がわかないかもしれません。そこで、さいたま市の一般会計予算を年間の収支が500万円の家計に置き換えてみました。

食費(人件費)、家族の医療費(子育て支援医療費など扶助費)、ローン返済(公債費)の3つは義務的経費とよばれ、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。(平成25年度の義務的経費の占める割合は、49.7%です)



《収入》			《支出》		
◆現金の収入	月額 ()内は年額	構成比	◆現金の支出	月額 ()内は年額	構成比
給料	314,298円 (377万円)		食費 (人件費)	69,545円 (83万円)	16.7%
{ ・本給(市税) ・諸手当 (地方譲与税、地方交付税、 国・県支出金等)	203,556円 (244万円)	48.9%	家族の医療費・保育料 (扶助費)	92,884円 (111万円)	22.3%
	110,742円 (133万円)	26.6%	ローンの返済 (公債費)	44,399円 (53万円)	10.7%
パート収入 (使用料・手数料ほか)	39,573円 (48万円)	9.4%	光熱水費、衣料費など (物件費ほか)	83,909円 (101万円)	20.1%
貯金の取り崩しなど (繰入金)	7,879円 (9万円)	1.9%	子どもへの仕送り (繰入金)	28,130円 (34万円)	6.8%
◆1年間で組む予定のローン			車の維持費 (維持補修費)	6,123円 (7万円)	1.5%
家のリフォームをする ためのローン※ (市債)	54,916円 (66万円)	13.2%	貯金など (貸付金、積立金ほか)	24,508円 (30万円)	5.8%
収入計	416,666円 (500万円)	-	◆今年予定している大きな支出		
			家のリフォーム (普通建設事業費)	67,168円 (81万円)	16.1%
			支出計	416,666円 (500万円)	-

※ローン残高 … 497万円(市債残高4,448億円を換算)

●平成25年度はどのような事業に取り組むの？

平成25年度予算編成は、歳入予算では、個人市民税や固定資産税等の影響から、歳入の根幹をなす市税の増収が見込まれるものの、歳出予算では、生活保護など社会保障関係経費等の増額により、収支不足が拡大する厳しい状況となりました。このような中、これまでの取組や成果等を踏まえ、平成25年度に計画期間が満了となる「総合振興計画新実施計画」の達成や防災対策等の強化、さらにはこれからの100年に向かって活力あるまちづくりを推進するため、次のような事業に取り組んでいくこととしました。

◇高齢者支援、子育て支援、教育の充実

**シルバーポイント
(長寿応援ポイント)
事業の充実**
【予算 718万円】



高齢者サロンの参加者や高齢者のボランティア活動に対しポイントを付与し奨励金を交付します。

**(仮称)さいたま市子ども
総合センター整備事業**
【予算 8,984万円】



子ども・家庭、地域の子育て機能を総合的に支援する中核施設、(仮称)さいたま市子ども総合センターの基本設計等を実施します。

**いじめ・自殺防止等
子どもサポート事業**
【予算 1,934万円】



悪質ないじめ問題等に適切・迅速に対応するため、専門的な知識や経験を有する警察OB等の配置や、自殺防止のため、ゲートキーパーとして適切に対応できる知識・スキルを身につけた教員を養成します。

◇防災、環境・エネルギー対策

学校体育館（小・中・高）避難場所機能の整備
【予算 9億221万円】



災害時に避難場所となる学校体育館の非構造部材を耐震化するとともに、バリアフリー化します。

新エネルギー政策の推進
【予算 6億9,820万円】



防災拠点施設のエネルギーセキュリティ強化のため、市立学校に太陽光発電設備及び蓄電池を設置します。

**次世代自動車・スマート
エネルギー特区の推進**
【予算 2億151万円】



「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する未来都市」の実現を目指し、ハイパーエネルギーステーションの整備に向けた導入支援やスマートホーム・コミュニティ推進に向けた調査・設計等を行います。

◇健康増進、スポーツ振興

**スマートウェルネスシティ
構想の研究**
【予算 196万円】



総合的な視点を持った健康づくりをまちづくりの中核に据えた、新しい都市モデル「スマートウェルネスシティ構想」の研究及びモデル事業を市内横断的に実施します。

国際自転車競技大会の誘致
【予算 1億5,000万円】



世界的に有名な自転車レースを冠に付した国際自転車競技大会を本市に誘致し、世界トップレベルの選手参加の下、開催します。

**西区誕生10周年記念
(仮称)西来る(サイクル)フェスタの開催**
【予算 263万円】



西区の資源であるサイクリングロードを活かし、自然環境に親しみながら健康づくりを目指す自転車イベントを開催します。

◇地域経済の活性化

**さいたま医療ものづくり
都市構想の推進**
【予算 1,658万円】



医療機器関連分野への研究開発型ものづくり企業の新規参入・事業拡大に資する支援策を展開します。

商店街活性化キャンペーン事業
【予算 8,100万円】



市内全域において商店街活性化キャンペーン事業を実施する、さいたま市商店会連合会を支援します。

**区制10周年記念
(仮称)岩槻・城下町まつりの開催**
【予算 1,000万円】



江戸時代初期、徳川家康の鷹狩り行列を地域のイベントと連携して開催します。

このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいきます。



※平成25年度の主要な事業の概要及び予算の査定経過等については、市のホームページでも確認できます。
<http://www.city.saitama.jp/index.html> (トップページから、「政策・財政」→「予算」へとお進みください。)

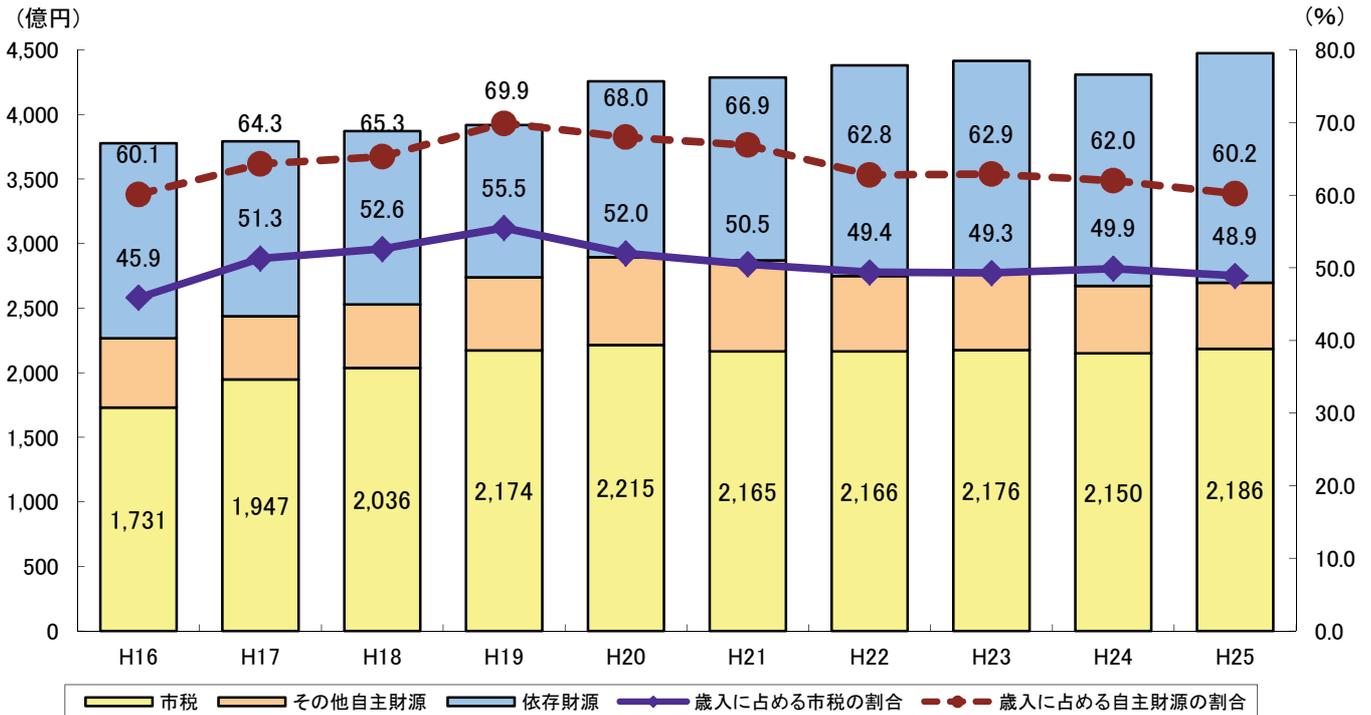
2. さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

●収入の状況は？

収入(歳入)は、市税や使用料、手数料など地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入することができる「自主財源」と、国庫支出金、市債、地方交付税など自主的に収入できない「依存財源」に分類され、自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

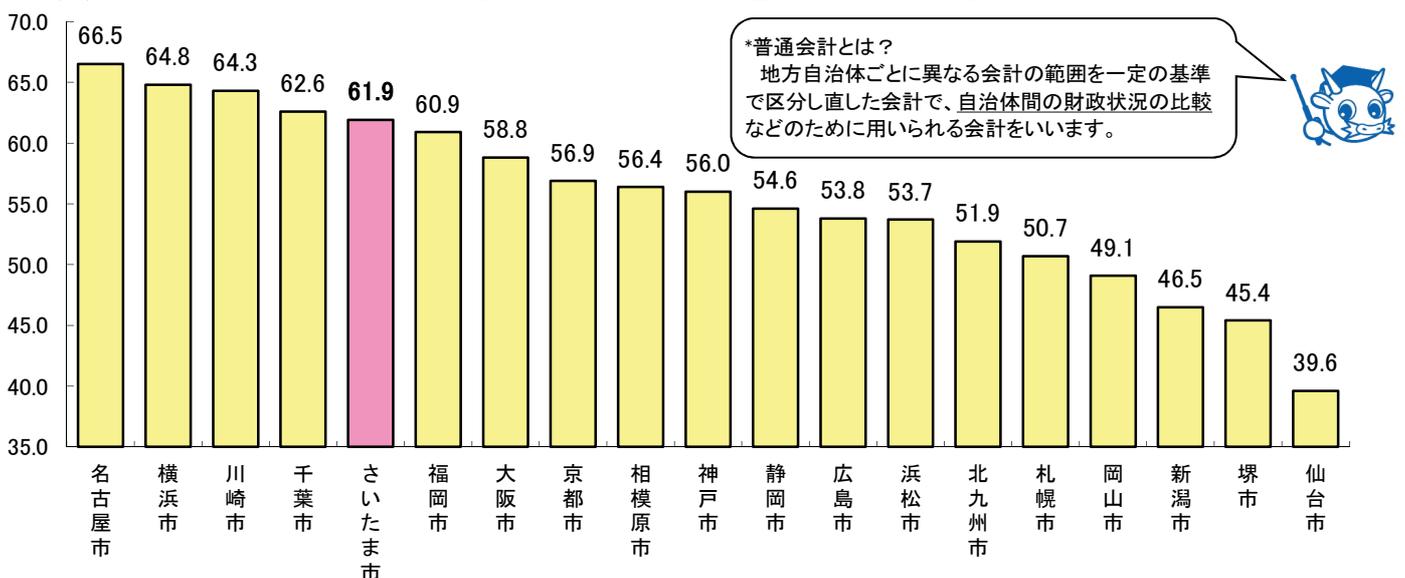
さいたま市の歳入の約半分を占める市税収入は、平成16年度以降5年連続で増加していましたが、景気の悪化の影響により平成21年度に減収に転じました。平成25年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者数の増加及び固定資産税における家屋の新增改築等により、増収となる見込みです。

■自主財源の推移(～H23:決算額 H24～:当初予算額)



■政令指定都市の自主財源比率(歳入に占める自主財源の割合)の比較(H23:普通会計*)

(%) さいたま市は政令指定都市の中で5番目の水準にあり、比較的自主的な財政運営が可能といえます。

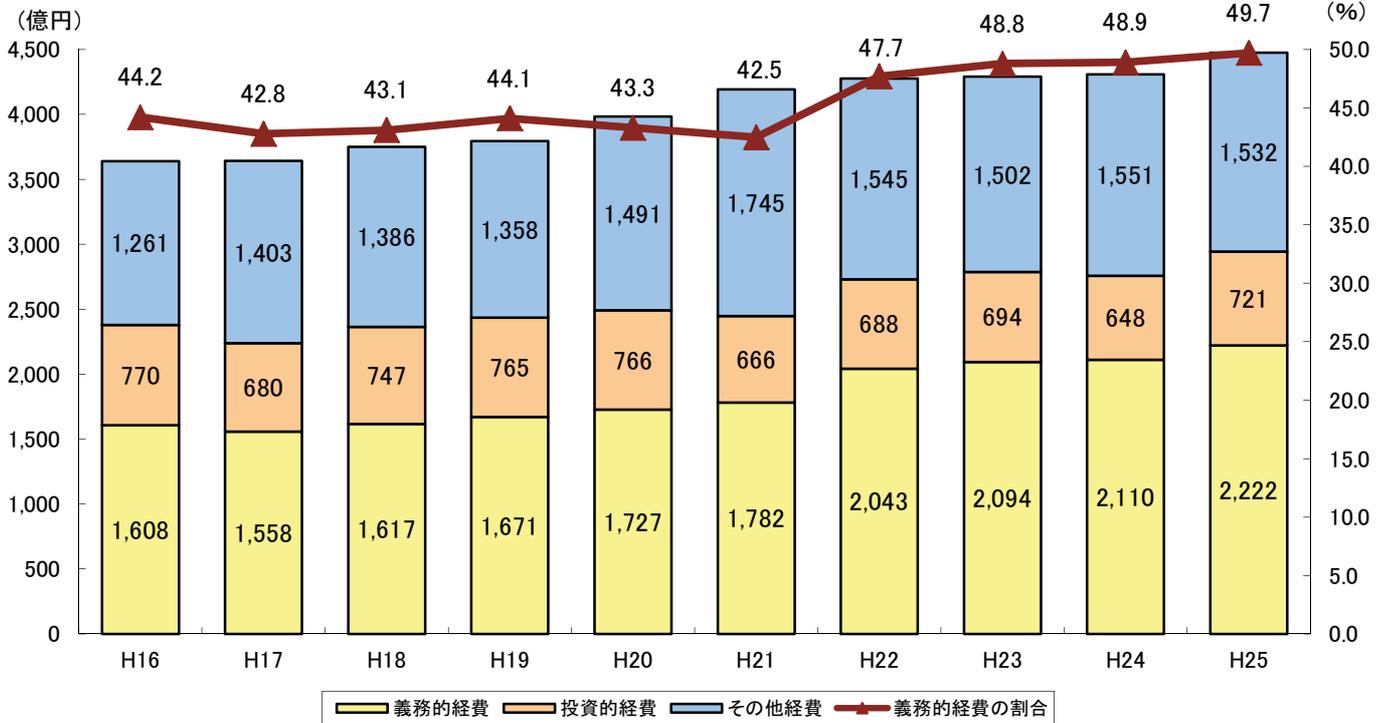


●支出の状況は？

支出(歳出)のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、少子高齢化に伴う福祉や医療にかかる費用の増加や景気の悪化による生活保護費の増加などの影響により大きく増えており、今後もこの傾向は続く見込みです。

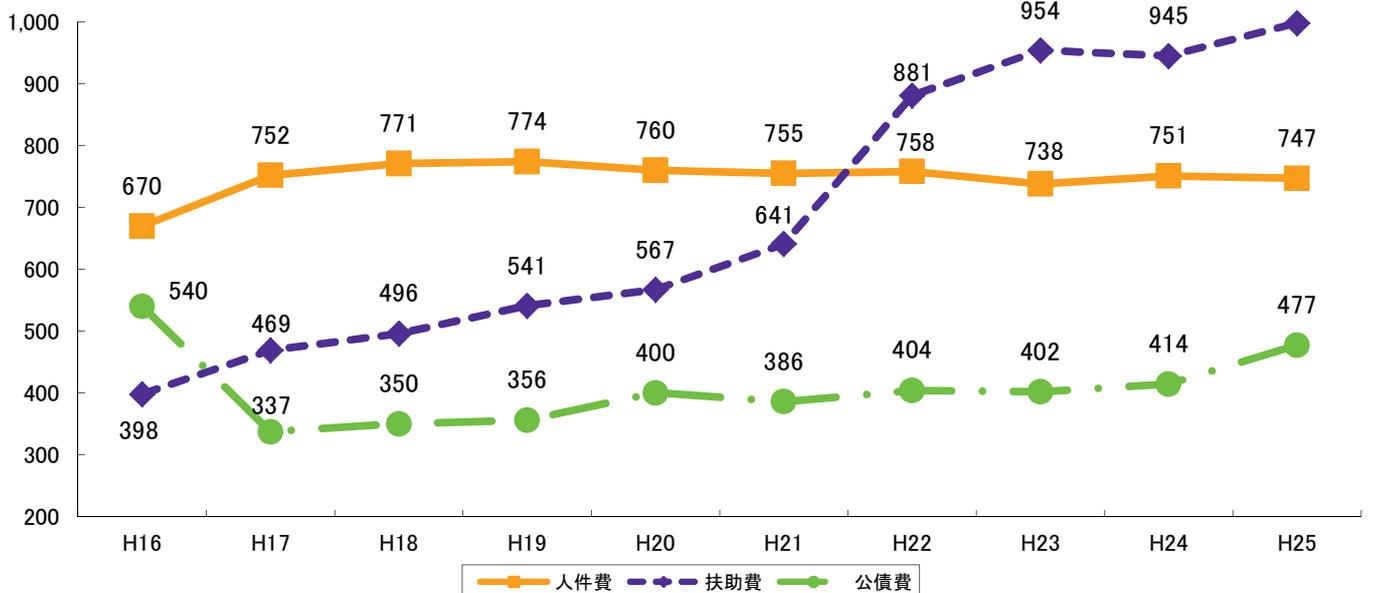
義務的経費は、収入が減ってもそれにあわせて簡単に減らせるものではありません。そのため、収入が増えない中で義務的経費が増えると、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなります。

■性質別歳出の推移(～H23:決算額 H24～:当初予算額)



■義務的経費の推移(～H23:決算額 H24～:当初予算額)

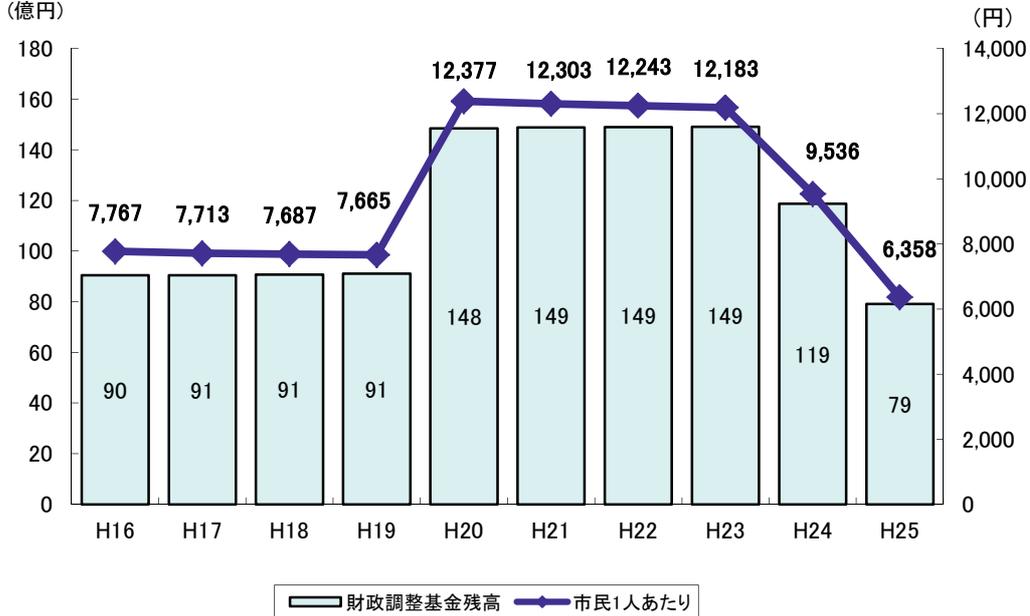
人件費や公債費は横ばいで推移していますが、扶助費については年々増加しており、特に平成22年度以降は増加が著しく、今後も増加傾向は続く見込みです。



●貯金の残高は？

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、貯金しています。

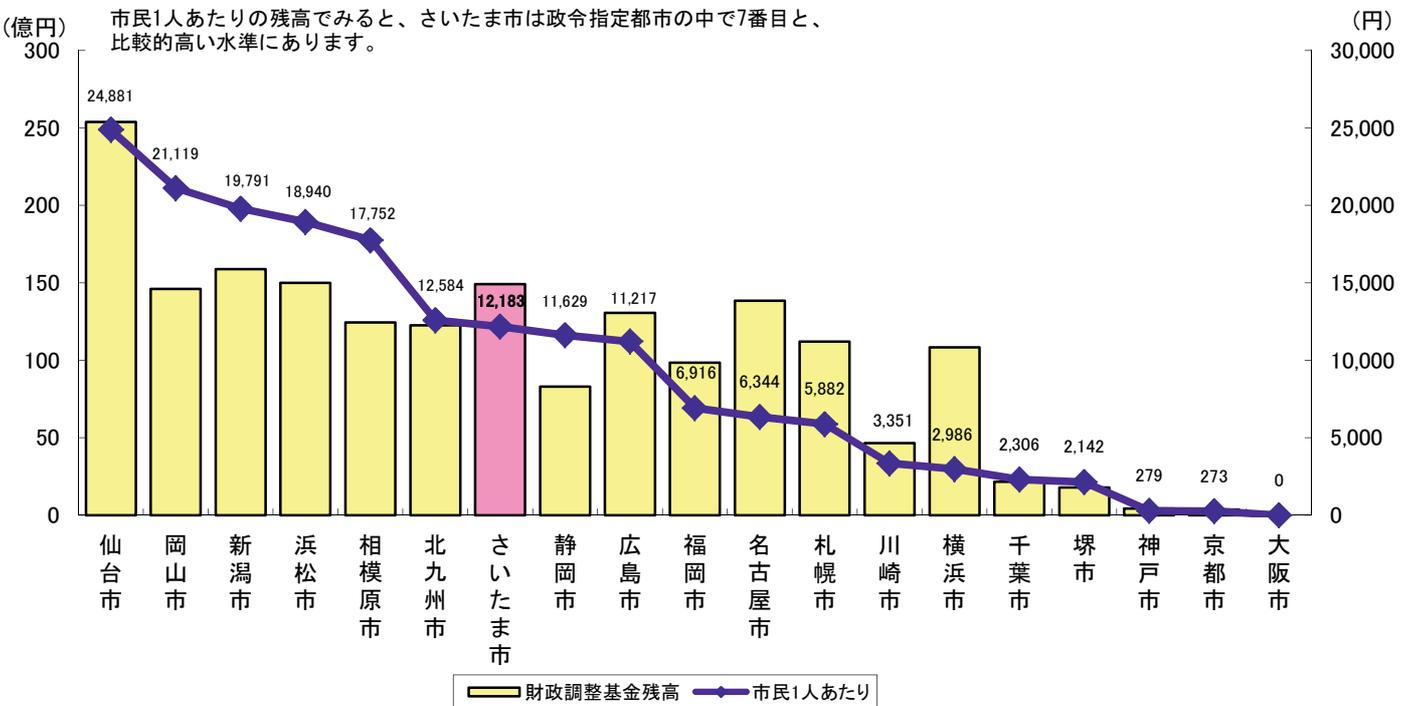
■貯金(財政調整基金*)残高の推移(～H23:決算額 H24、25は見込み)
(億円)



※財政調整基金とは？
年度間の財源の不均衡などを調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てます。

■政令指定都市の財政調整基金残高の比較(H23:普通会計)

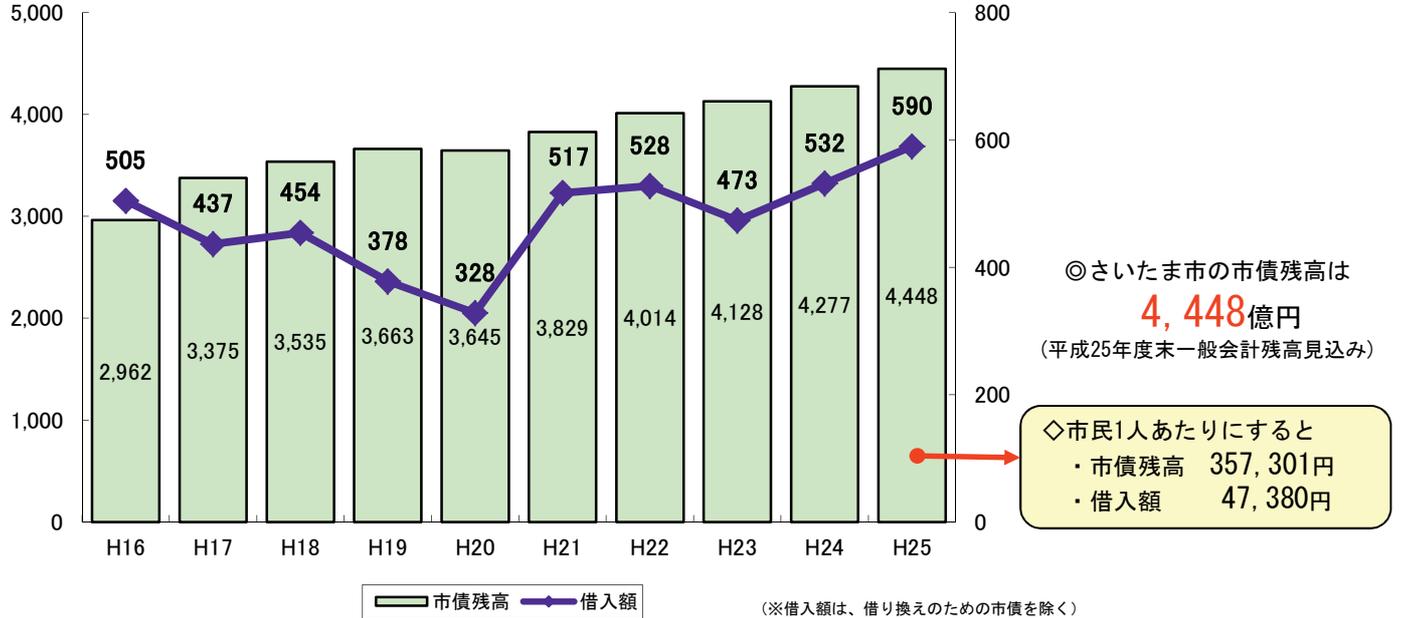
(億円) 市民1人あたりの残高で見ると、さいたま市は政令指定都市の中で7番目と、比較的高い水準にあります。



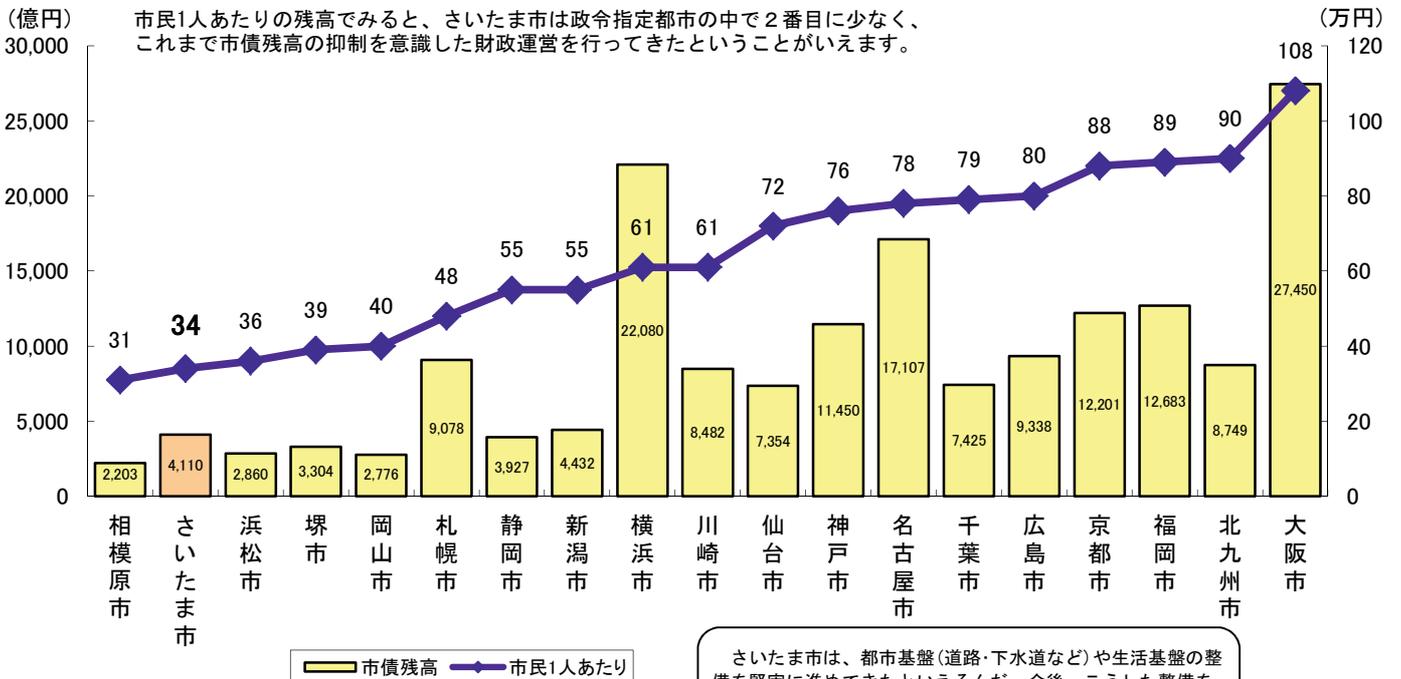
●市が借りているお金はいくらあるの？

さいたま市が借りているお金は4,448億円（市民1人あたりにすると357,301円）となっています。

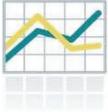
■市債残高及び借入額の推移（～H23:決算額 H24、25は見込み）
（億円）



■政令指定都市の市債残高の比較（H23:普通会計）



●さいたま市のフトコロ事情は安心？



地方財政の財政悪化を背景に、「地方団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に成立しました。この法律は、地方自治体の財政状況を客観的な指標でチェックして、悪化している団体を確実に健全な状態にしておくことを目的とします。

さいたま市は、将来世代への責任を果たせる健全な財政運営の維持を図る取組をしてきたことにより、平成23年度決算に基づいて算出した健全化指標は、すべて国が定めた基準をクリアしており、健全であるといえます。

＜平成23年度決算に基づく財政健全化指標＞



指標		解説	さいたま市	早期健全化基準※1	財政再生基準※2
健全化判断比率	実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	- (赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	- (赤字なし)	16.25%	30%
	実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	5.4% (政令市中3位)	25%	35%
	将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	43.1% (政令市中2位)	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

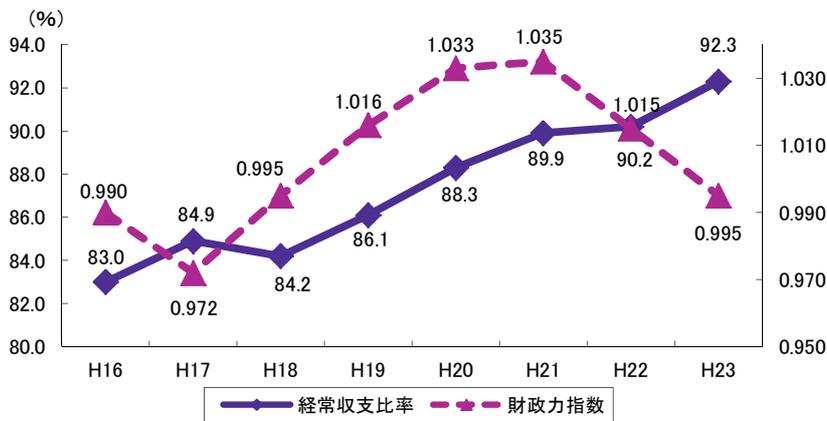
※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

＜比率の結果＞

◎ どちらも低い水準で健全です

●フトコロの体力測定 ～財政の健全性を測定～

■経常収支比率と財政力指数の推移(～H23:普通会計決算)



◎経常収支比率（市税などの継続的に見込める収入が、節約の難しい義務的な支出にあてられている割合）
92.3%（政令市19市中**6位**）

◎財政力指数（標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合）
0.995（政令市19市中**3位**）

政令市平均を40歳とすると、さいたま市は**34歳**

※経常収支比率の政令市平均(94.7)を40歳、第1位の岡山市(87.4)を20歳として試算



●今後の財政見通し ～より安定的な財政へ向けて～

これまでさいたま市は、歳出削減への積極的な取組や、安定した市税収入を確保することなどにより、他市に比べ堅実な財政運営を行ってきました。

しかしながら、個人市民税では転入等により納税義務者の増、固定資産税では家屋の新増改築等により増収が見込まれるものの、支出では福祉や医療など義務的な経費が増加傾向にあります。



■安定的な財政を維持するためには何が必要？

より少ない予算でより大きな効果を上げられるよう、事業のやり方を見直すことなどが重要です。

さいたま市では、行財政改革の理念やこれまでの成果を踏まえ、将来にわたっても安定的な財政を維持していくよう行財政改革に取り組んでいます。

◇もっと詳しく知りたい方は、次の冊子やホームページもご覧ください。
(冊子は区役所の情報公開コーナーで閲覧することができます)

●【予算案の概要】

予算案を発表したときの資料です。

●【さいたま市の財政状況】

予算執行状況や財産状況など市の財政状況を市民の皆様にお伝えする冊子です。毎年6月と12月の年2回発行しています。

●【企業会計的手法による財政状況】

発生主義を活用し、複式簿記の考え方を導入した公会計(民間企業に近い会計)に基づき作成した貸借対照表等の財務書類です。

※これらの冊子は、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.saitama.jp/index.html>

この冊子は500部作成し、1部当たりの印刷経費は42円(概算)です。

【さいたま知っ得予算(平成25年度)】

平成25年4月

編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1153~1155